



令和元年5月22日

報道機関 各位

富山大学人間発達科学部附属小学校
2019年度教育研究発表会の実施について

富山大学人間発達科学部附属小学校におきまして、下記のとおり「2019年度教育研究発表会」を実施します。

つきましては、当日の取材・報道方、よろしくお取り計らい願います。

記

- 1 期 日 令和元年6月14日（金）
- 2 場 所 富山大学人間発達科学部附属小学校
- 3 日 程

8：50～ 9：10	受付
9：10～ 9：45	開会式、研究概要発表
10：00～10：45	公開授業Ⅰ
11：00～12：00	協議会Ⅰ
13：00～13：45	公開授業Ⅱ
14：00～15：00	協議会Ⅱ
15：10～16：40	講演
16：40～16：45	閉会式
- 4 講 演
講師：國學院大學人間開発学部初等教育学科
教授 田村 学 先生
演題：主体的・対話的で深い学び

※ お車は、附属小学校玄関前にご駐車願います。

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学人間発達科学部附属小学校
副校長 曲師 政隆（まげし まさたか）
TEL. 076-445-2803

深い学びの実現に向けた教育課程の創造(2年度)

～子供が自ら問いを解決していくための教師の手立てを明らかにする～

令和元年6月14日(金)

研究2年度は、子供が自ら問いを解決していくための手立てを中心に研究に取り組んできました。ズレを感じる対象や友達との出会いによって自ら問いをつくった子供たちが、問いを解決するために新しい視点から考えを検討し、考えを再構築する授業を公開します。

「深い学び」の実現に向けた授業改善の在り方について、公開授業を基にご参会の皆様と研修を深めたく存じます。

本校校長 片岡 弘



日程

8:50	9:10	9:45	10:00	10:45	11:00	12:00	13:00	13:45	14:00	15:00	15:10	16:45	
受付	開会式 研究概要 発表	移動	公開授業I	移動	協議会I	昼食	午後の部受付	公開授業II	移動	協議会II	移動	講演	閉会式

公開授業 I

2の1	図工	桶本 佳江
3の1	理科	鼎 裕憲
4の1	算数	細江孝太郎
4の2	社会	眞田 裕人
5の1	家庭	池田 美貴
5の2	国語	神田 靖大
6の2	外国語	渡辺千愛実

公開授業 II

1の1	生活	福田慎一郎
1の2	国語	中村 健志
2の2	算数	屋鋪 善祐
3の2	社会	岩山 直樹
4の2	道徳	眞田 裕人
5の1	音楽	村井 悠子
5の2	算数	羽柴 直子
6の1	体育	土合 真祐

講演

演題

「主体的・対話的で深い学び」

講師

國學院大學人間開発学部
初等教育学科

教授 田村 学 先生

開会式・研究概要発表

9:10~9:45

研究概要 発表

「深い学びの実現に向けた教育課程の創造」(2年度)

～子供が自ら問いを解決していくための教師の手立てを明らかにする～

(本校研究部長：福田 慎一郎)

公開授業 I

10:00~10:45

2の1 図画工作科

「キラキラ虫、光の世界に大集合！」

桶本 佳江

色セロハンを詰めた透明ケースやカップに光を通してできた「光の世界」を楽しんだ子供たち。光を反射させるアルミホイルを主材料にして、その世界に住む虫をつくります。「光を通す羽根をつくりたいな」など、それぞれが願いをもち、試行錯誤しながら作品をつくります。

3の1 理科

「光当てゲームをしよう」

鼎 裕憲

鏡を使った的当てゲームを通して、光の反射や直進について理解した子供たち。影にある的に光を当てるために、複数の鏡で光をつなぐ方法を発案しますが、実際に当ててみると的(センサー)が反応しないことから「反射した光は弱くなるのだろうか」と問いをもちます。そして光を強くする方法について考えていきます。

4の1 算数科

「折れ線グラフ～ベルマークを集めよう～」

細江 孝太郎

たくさんのベルマークを集めて学校の備品を買いたいと願い、各クラスに協力への感謝とより一層の協力を伝えるための収集状況のグラフを作成した子供たち。「折れ線グラフの人と棒グラフの人がいるの!？」自分とは違った友達のグラフを見て、「今伝えたいことがより伝わるのはどのグラフなのだろうか」と問いをもち、それぞれのグラフのよさに迫っていきます。

4の2 社会科

「住みよいくらしをつくる～くらしを支えるエネルギー～」

眞田 裕人

くらしを支えるものとして飲料水について考えてきた子供たち。生活を支えるガスも水道と同じように運ばれているか比較して考えます。「飲料水は不純な物を除いたけれど、ガスはにおいを付けるのはなぜだろう」と仕組みの違いに問いをもち、住みよいくらしをつくろうと働く人の取組とわたしたちの生活の関わりを考えていきます。

5の1 家庭科

「わくわく!ソーイング」

池田 美貴

玉結びや玉どめ、なみ縫いをするだけで小物ができ上がることに自信をもった子供たち。実際に使う中で不具合が出た場面に直面し、「お気に入りの小物を長く使い続けられるようにするには、どのような縫い方をするとよいのだろうか」と問いをもちます。「丈夫さ」という視点から返し縫いの仕方や縫う間隔を見つめ直し、縫い方の工夫をすることで、より生活が豊かになることに気付いていきます。

5の2 国語科

「筆者の論の進め方をとらえながら読もう『生き物は円柱形』」

神田 靖大

本文中の「例外」について書かれている部分を省いた文章を読むことで、子供たちは「説得力がある」、「説得力がない」に意見が分かれます。話し合う中で子供たちは、「どのような事例があればよいだろう」と検討し、「『例外』はどこに組み込まれるとよいだろう」と、問いをもちます。筆者の用いた事例や論の進め方に着目し、説得力を高める工夫について考えながら読み進めていきます。

6の2 外国語科

「伝えよう 日本の素晴らしさ-Welcome to Japan-」

渡辺 千愛実

ALTに日本の魅力を伝えようと、調べ学習を進め、紹介するものの言い方に親しんできた子供たち。練習をする中で、言い方や見せ方が自分とは異なる紹介に出合います。「日本の素晴らしさを伝えるには、どんな工夫ができるのだろうか」と問いをもち、強調した話し方や書いて示すことに必要感をもって、伝える技能を磨いていきます。

公開授業Ⅱ 13:00~13:45

1の1 生活科

「みんなで遊ぼう!!どろんこパーク」
福田 慎一郎

砂と土の素材の違いを生かして活動を発展させ、泥遊びが大好きになった子供たちが、自分が感じた泥遊びの楽しさを伝え合う。楽しさを伝え合う中で、楽しさが違うことに気付きます。この比較を通して、「もっと楽しく遊ぶには、どんな工夫をすればいいのかな?」と自ら問いをもちます。そして、「水」「土の違い」「友達の数」という視点を比較したり関係付けたりしながら、自分が取り組みたい泥遊びの内容を考えていきます。

1の2 国語科

「想像を広げながら読もう
『おおきなかぶ』」
中村 健志

役割読みや動作化を通して、人物の言動や心情について捉えてきた子供たち。かぶを引っ張る場面について、「ねずみがねこをひっぱって」と、教科書とは順序が逆になっている絵本を紹介すると、子供たちは「どうして教科書はこの順番なの?」という問いをもちます。人物の関係性に注目しながら、登場人物の行動について想像を広げながら読み進めていきます。

2の2 算数科

「表とグラフ
～1年生となかよし大作戦!～」
屋鋪 善祐

「1年生となかよし大作戦!」の一環として、一番人気の休み時間の遊びを紹介するために、データを表やグラフで整理した子供たち。様々な整理した表やグラフを読み取る過程で、「一番人気な遊びを伝えるには、本当に表(グラフ)でいいのだろうか」と問いをもち、簡潔性の視点から、データの特徴に関する考えを見直していきます。

3の2 社会科

「はたらく人とわたしたちの暮らし
～0さんがつくる真っ赤なおいしい富山トマト～」
岩山 直樹

見学を通して収穫までには様々な工夫や努力があることを知った子供たち。どんなトマトが収穫されるのか実物を見て話し合う中で、「真っ赤ではないトマトを収穫する」という事実に出合います。「本当に真っ赤ではないトマトを収穫していいのだろうか」と問いをもった子供たちは、「安心安全」「地産地消」等の視点から地域の人々のために工夫することの意味を考えていきます。

4の2 道徳科

「みんなのしあわせがぼくのしあわせ
【B-10】相互理解、寛容」
眞田 裕人

それぞれに感じる「しあわせ」について自分の考えを話し合う中で、自分にとっての「しあわせ」と、みんなにとっての「しあわせ」との考えのズレから、「しあわせって、誰のためにあるのだろうか」と問いをもちます。互いの「しあわせ」を広い心で受け止め、それぞれの意見を尊重しながら、しあわせについて見つめ直していきます。

5の1 音楽科

「日本の音階で音楽をつくろう」
村井 悠子

奏でるだけで日本らしい雰囲気漂う、五音音階を用いて音楽をつくります。

即興的に旋律をつないだり重ねたりする中で、音楽をつくるためのヒントを得たり、それらを生かしながら、テーマに合った音楽をつくろうと試行錯誤したりする姿を期待します。

5の2 算数科

「図形の角のひみつを調べよう」
羽柴 直子

三角形をしきつめる活動を行う中で、上手くしきつめられる場合とそうでない場合に出合います。それらの比較から、「どうしてしきつめられないのかな?」という問いをもちます。そして、しきつめの様子を読み取ることで、「構成要素」「内角の和」等の視点から、直感的に操作していたことの意味づけを図ったり、様々な方法で内角の和を調べたりする経験を積み、子供たちは自分の考えを再構築していきます。

6の1 体育科

「気持ちよく跳び越そう!
仲間と挑戦!『集団跳び箱』」
土合 真祐

自分の能力に合った技を練習してきた子供たちが、『集団跳び箱』に挑戦します。仲間と一緒に続けて跳んだり、シンクロさせて跳んだりする中で生まれる「仲間と跳ぶと楽しいな!」「もっとこんなふうになりたいな!」という喜びや願いが、子供自らの動き方を見直す必要感を高め、自分の納得いく技が“できるようになるための動き方”についての考えを再構築していきます。

講演 15:10~16:40

演題 「主体的・対話的で深い学び」

来年度より新学習指導要領が全面実施されます。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業をどのように改善すればよいか、来年度までにどのような準備、心構えをしておけばよいのかなど、具体的事例を基に、これから取り組むべきことについてご示唆していただきます。

講師 國學院大學人間開発学部初等教育学科 教授 田村 学 先生

公開授業指導助言一覧

※敬称略

国語科	富山大学人間発達科学部	特命講師	武田 裕司 先生
社会科	富山大学人間発達科学部	教授	岡崎 誠司 先生
算数科	氷見市立湖南小学校	校長	中野 聖子 先生
理科	富山大学人間発達科学部	准教授	土井 徹 先生
生活科	富山市立大庄小学校	校長	三原 茂 先生
音楽科	富山大学人間発達科学部	講師	多賀 秀紀 先生
図画工作科	射水市立小杉小学校	校長	荒治 和幸 先生
家庭科	富山大学人間発達科学部	教授	磯崎 尚子 先生
体育科	富山大学人間発達科学部	准教授	佐伯 聡史 先生
外国語活動	富山大学教職大学院	教授	岡崎 浩幸 先生
道徳科	富山大学人間発達科学部	講師	増田 美奈 先生

富山大学人間発達科学部附属小学校

お問い合わせはこちらから!

〒930-8556 富山県富山市五艘1300

TEL 076-445-2803

FAX 076-445-2802

e-mail info@fes.u-toyama.ac.jp

URL <http://www.fes.u-toyama.ac.jp>



- FAX、e-mailでの事前申し込みも行いますが、当日受付も可能です。
- 資料代として、2,000円（学生1,000円）を当日受付で申し受けます。
- 自家用車の方は、グラウンドに駐車してください。
- 昼食が必要な方は、当日受付にて食券をお求めください。